

2020年度 事業報告書

1、法人の概要

名称 社会福祉法人 清涼会
理事長 理事長 本多 伯舟
所在地 名古屋市中川区五女子町4丁目32番地1

2、設置する施設

施設名称 および 施設長名 ()は認定こども園の類型

○認定こども園 清涼保育園 (幼保連携型)	園長 青山 澄江
○清涼園デイサービスセンター	施設長 杉山 俊光
○認定こども園 神の倉清涼保育園 (幼保連携型) (園内 子育て支援センター 「ちゅうりっぷクラブ」)	園長 小野寺 晋司
○認定こども園 神の倉清涼保育園分園	園長 小野寺 晋司
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、併設 和ショートステイ	施設長 小川 瑞穂
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑、併設 和ショートステイ	施設長 山田 守
○東神の倉清涼保育園	園長 森野 章子
○植園清涼保育園	園長 吉安 順子
○依佐美清涼保育園 (園内 病児・病後児保育「依佐美 おひさまケア・ルーム」)	園長 杉山 正海
(園内 一時預かり「ちゅうりっぷ」)	

3、施設所在地

名古屋市中川区五女子町4丁目32番地1	(認定こども園 清涼保育園、清涼園デイサービスセンター)
名古屋市緑区東神の倉3丁目1803番地	(認定こども園 神の倉清涼保育園、神の倉清涼保育園分園、子育て支援センター)
名古屋市緑区東神の倉3丁目2211番地	(認定こども園 神の倉清涼保育園 分園)
名古屋市南区明治1丁目6番9	(特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、併設 和ショートステイ)
東海市加木屋町冬至池4番15	(特別養護老人ホーム 東海清涼苑、併設 和ショートステイ)
名古屋市緑区東神の倉3丁目3407番地	(東神の倉清涼保育園)
名古屋市名東区植園3丁目24番	(植園清涼保育園)
刈谷市高須町山ノ神57番地	(依佐美清涼保育園、病児・病後児保育、一時預かり)

4、事業目的

○認定こども園 清涼保育園

幼保連携型の認定こども園として、幼児教育の一層の充実を目指し、高齢者施設との連携を図り地域福祉の充実を図る地区の保育の拠点として積極的に地域の行事に参加するとともに、保護者に保育に関する助言等を積極的に行う子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○認定こども園 神の倉清涼保育園、神の倉清涼保育園分園

幼保連携型の認定こども園として、保護者の就労状況等に関わらず受け入れて、就学前の子どもに幼児保育・教育を行う地域における子育て支援として、すべての子育て家庭を対象に子育て不安の緩和・解消に寄与する子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○認定こども園 神の倉清涼保育園内 子育て支援センター 「ちゅうりっぷクラブ」

0歳～未就園児のお子様とその保護者を対象に園庭開放や、季節の行事親子ふれあい教室などをほぼ毎日開催し、また看護師・管理栄養士・保育士による育児相談を行う(電話相談も可)ことにより、家庭以外でのお子様とのふれあいの場の提供、子育ての悩みの緩和・解消をめざし、お子様と保護者のより良い関係づくりに寄与する

○東神の倉清涼保育園、植園清涼保育園

地域密着型の保育園として、認定こども園 清涼保育園、認定こども園 神の倉清涼保育園、すもも分園同様、子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指すまた、豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○依佐美清涼保育園

緑に囲まれた自然豊かな地域での郊外型保育園として、名古屋市の認定こども園、保育園同様に子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す

○依佐美清涼保育園内 病児・病後児保育室 「依佐美おひさまケア・ルーム」

病児病後児保育を実施し、病気又は病気のピークが過ぎても集団保育ができない子を医療専門職員が預かることで、保護者が安心して就労できるよう、子どもと保護者を支える

- 依佐美清涼保育園内 一時保育室「ちゅうりっぷ」
一時預かり事業を実施し、保育園に在籍していない子で、保護者が仕事や病気など一時的に家庭で保育できない時や、育児疲れを解消したい時(リフレッシュ)などに、子どもを預かり、地域の子育てへの協力を行う
- 清涼園デイサービスセンター
身体虚弱な居居高齢者に対して地域密着型通所介護施設として各種サービスの提供により、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図るとともに、家族の負担軽減を図る
- 特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、特別養護老人ホーム 東海清涼苑
常に介護が必要で、家庭での介護が困難な寝たきりや認知症の高齢者の入所介護を行う
- 特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑 和ショートステイ、東海清涼苑 和ショートステイ
要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る

5、定員

○認定こども園 清涼保育園	48名	
○神の倉清涼保育園	135名	
○神の倉清涼保育園 分園	20名	
○東神の倉清涼保育園	60名	
○植園清涼保育園	90名	
○依佐美清涼保育園	135名	
○清涼園デイサービスセンター	18名	
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑	100名	短期入所 9名
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑	100名	短期入所 10名

6、実員

○清涼保育園	55名		
○神の倉清涼保育園	135名		
○神の倉清涼保育園 分園	15名		
○東神の倉清涼保育園	63名		
○植園清涼保育園	89名		
○依佐美清涼保育園	127名		
○清涼園デイサービスセンター	9.9名	(平均)	
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑	98名	短期入所	7.39名 (平均)
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑	88名	短期入所	3.62名 (平均)

(2021年3月31日付)

7、従業員数

○清涼保育園	16名	
○認定こども園 神の倉清涼保育園 (分園、子育て支援センター含む)	38名	
○東神の倉清涼保育園	15名	
○植園清涼保育園	17名	
○依佐美清涼保育園(病児・病後児保育、一時預かり)	30名	(うち、障がい者雇用 1名)
○清涼園デイサービスセンター	7名	
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑 (和ショートステイ含む)	71名	(うち、障がい者雇用 1名)
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑 (和ショートステイ含む)	85名	(うち、障がい者雇用 3名)

(2021年3月31日付)

8、運営費

◇保育園、認定こども園	国基準による公定価格 民間社会福祉施設運営費補給金 その他名古屋補助金、刈谷市補助金
◇デイサービスセンター	介護保険料及び、利用者負担
◇特別養護老人ホーム及び併設 ショートステイ	介護保険料及び、利用者負担

9、財政状態及び経営成績

2020年度の事業としましては、2021年4月開園の鳴子清涼保育園(緑区鳴子町、定員120名)の開園準備を年度を通じて行いました。

また、2020年2月半ばから続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大と縮小の繰り返しの中、感染予防の徹底に努め、通常の活動をできる限り行うための方策が常に課題となった1年であり、「新しい生活様式」に合わせた業務様式の模索と実践を行い大過なく運営継続をすることができました。

緊急事態宣言期間中であっても、介護、保育共に出勤を控えることができない業務であるため、感染リスクを負い、感染予防により一層努めて勤務することになるため、緊急事態宣言中の職員の出勤に対し、宣言期間中の施設の地域の状況を考慮したうえで、緊急時出勤手当を支給致しました。

また、新型コロナウイルス感染症により、小学校等が休校になったことにより、欠勤せざるを得なくなった職員については、両立支援助成金を活用し、年次有給休暇とは別に、有給休暇を付与しました。

その他、2020年4月からの民法改正に伴い、各施設の書類等に関し必要な変更を行いました。

2021年3月には、日本健康会議による「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」の認定を2年連続で受けました。

介護部門に関しては、入所型の施設については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、感染拡大状況により、施設内への立ち入りを制限するなどし、利用者のご家族との面会については、施設の構造に合わせ、ガラス越しやパーテーション越し、オンラインで行うようにし、職員の外部との打ち合わせや会議については、Web会議や電話等を活用し対面を回避するようにしました。通所施設については、職員や利用者の健康確認、施設や送迎車両の消毒、換気に注力し、感染防止に努めました。

職員の感染予防対策の一環として、「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(介護分)」を活用し、ノートパソコンを購入、在宅勤務規程を変更し、事務職員など一部の職員について、在宅勤務ができる体制を整え、2021年1月から2月の緊急事態宣言期間中、在宅勤務を交代で行いました。

法人全体の重要課題としてきた東海清涼苑の稼働につきましては、前年度まで順調に改善して参りましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療機関、介護施設への入館規制が行われ、入所調整に調整に時間を要したこと、申込者数や申込相談数の減少等、入居に係る「動き」の減速の影響を特に受け、特別養護老人ホームの稼働率は、前年度比5.32ポイント減少、併設の和ショートステイについても、7.85ポイント減少しました。

同じく課題となっております清涼園デイサービスセンターにつきましては、デイサービスでの新型コロナウイルス感染症の感染が全国的に多かったこと等による利用の手控えもあり、稼働率は、前年度比2.1ポイント減少の54.95%と4年連続の利用減となりました。

内田橋清涼苑につきましては、特別養護老人ホームの稼働率は前年度比0.24ポイント増の92.60%でしたが、2021年10月以降、上昇しており、2021年3月は96.06%、併設ショートステイの稼働率につきましては、6.57ポイント減少しましたが2021年1月以降上昇傾向にあり、概ね順調に稼働することができました。

サービス活動収入は当年度は、内田橋清涼苑は前年度比約600万円増、東海清涼苑、清涼園デイサービスセンターは減収となり、それぞれ約800万円、約50万円減となりました。

サービス活動増減差額は稼働率の低下及び感染対策備品、衛生用品等の費用増により、内田橋清涼苑が前年度比約600万円減、東海清涼苑は5,800万円減、清涼園デイサービスセンターは、約20万円減となりました。

保育部門については、各園はほぼ定員を満たしての運営となりました。開園3年目となった依佐美清涼保育園は、前年度末の園児数116名から、当年度末には127名へと増加しました。

依佐美清涼保育園の事業である病児病後児保育事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を全面的に受ける形となり年間の利用総数が、9名と前年度の1割程度の利用に止まりました。

一方、6月より新たに開始をした一時預かり事業については、月を追うごとに順調に利用が伸び延べ340名の利用がありました。

全園について、園での怪我等に関し、継続受診が必要な場合で、保護者により受診をした際の交通費や、保険外費用等の支払いに関しては、一定額までは園で負担することにしました。

行事については、新型コロナウイルス感染症により、中止をしましたが、時間帯をクラスごとに分けるなど、

各園の構造に合わせて、3密を避ける工夫をし、感染対策を取ってできる限りの実施に努めました。

感染予防のため、保護者の方の園内への立ち入りを制限したことにより、普段の様子を見て頂くことが難しくなったため、認定こども園神の倉清涼保育園で、動画共有サービスの活用を開始しました。

地域公益事業である清涼園デイサービスセンターの「八幡カフェ」や内田橋清涼苑の認知症カフェ「なごみカフェ」は、感染防止のため、2020年度の開催は控えました。

2020年度

事業報告書附属明細書

事業報告書に補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以上